



馬繪



特別
子12
3643
16 (3)



鑄馬



治^ラめ^ニ侍^ニま^シと^シ守^ルれ^ク伊^ハ塙^ノ宮^ニ
 居^ルよ^シ齋^ムん^ト柙^ノ是^レ也^ト大^ニ炊^ル御^ノ門^ノ子^ト
 是^レも^シ下^カあり^メ梅^ノも^シ我^ガ志^キ伊^ハ塙^ノ者^ト
 神^ニ宮^ニと^シ信^スじ^テ終^ルる^ト柙^ノ也^ト寶^ヲと^シ柙^ルる^ト
 其^レ勅^ヲと^シ蒙^ルる^ト唯^ニ今^ニ伊^ハ塙^ノし^テ未^ダ宣^ハは
 甲^ノ風^ハ入^リる^トあ^リる^ト松^ノ也^トや^ク



故
 梅若誠郎氏
 昭和四年青森
 梅若重氏
 寄贈

雲雀おららるる粟津野乃ちあのみ去
げをもも趣く瀬田の長橋打渡り
野路走のちりぬあ枕夢も一夜去
旅寝りぬくあ程よきさくも指
羽交交よあらくん今あき節をよ
て此所よ鈴馬を掛く申作間
にぬいけりよ逗留し弦を掛る者を

見たりと存一草荒玉れ雲よ心とわらふ
の神と久しき恵りぬあもやとあ
まこと去年もわいさしあのくれ
馬と虎山の野よあち牛と桃林子
はあぐ事皆聖人のあとわらぬあ
う一きあのみし時よあうあて四方
の海に浪あまあかそくてもあう子あ

合

二

乃ある牧とたたるも控あり程や
子早振神代を固く久りしれ天津
日つれ代とありてかく大皇孫代乃
子孫はありし惠をう分つて治
まね代乃物もどるあな思をあ
ぎつお宣仕くありく
人ごよ書ありしむね此方れりて

今行事ありて
馬と掛と申の御
物ら給馬と御
掛れとぞ是ハ唯一切
を智あるを像の馬
をらりし赤雨
梅今ありし給馬と掛明年れ日

三
さうしほし物さびしいほまも等々
せだ先雨露の恵と受け民のほも
いさあふよみれろろの給ことりけ
國とあふあはれまあり物に耕作の
道のあふと社神をほろほへけせ
先汝耐り給馬と掛民と候げせたま
思ひの左様と稱とのほろは汝方もあ

らよ節まうがをもいせふく天地
と動り目よぬ鬼神れきたら心と和
くは奇はやとよまもあまきる
空のあてあるまおろかて嬌ふ秘ま
かきくそああうり障行約はろや
いざやあふの給うと掛て万民まの心
世とあふびいさらたり進程ひふ

給

目

掛く怒るもあつてもあつてもあつてもあつてもあつても
云掛て雨さよ〜河さ侍ら
人民きらくは國惠と^{ヨク}うちまぐ
泰あや是をぞ頼^{カキ}神垣^{カキ}の給馬也
掛さるや國去^{ユタカ}あまふよりかたあ
とあれはひありぬ日ぐは是を^{モト}抱らん
みどいしづろゆ^ハくかろ^ハあ^ハくは^ハあ^ハ

りけあふりる約々るきそ^ヤ綴^ルくも
しは松風^{カハ}のう^ハの^ハあ^ハの^ハ屋上^ハの^ハ花^ハも
そへて^ハあ^ハの^ハび^ハく^ハあ^ハの^ハま^ハより^ハら^ハく^ハあ^ハ
まの也^ハ僧^ハ遍^ハ昭^ハの^ハ奇^ハの^ハ横^ハえ^ハこれ^ハ
城^ハも^ハあ^ハの^ハあ^ハの^ハ然^ハな^ハま^ハる^ハ遊^ハ女^ハの^ハ姿^ハ
よめて^ハい^ハき^ハつ^ハる^ハ心^ハを^ハ動^ハも^ハの^ハ海^ハみ^ハり
急^ハよ^ハら^ハま^ハさ^ハつ^ハあ^ハぐ^ハ約^ハの^ハ二^ハ道^ハう^ハち^ハ

中く恨し、急路の重情あり人交れ
手執、思ふに宵のあはれをて言成を
かき、此う入行さつし、き我おは
伊勢の二柱先婦と現し立出、おは
し、位ぎ、疑ひあり、川きけ、おは
ゆる、内外あそ、ゆき、まへん、え申こと
おまよ、まぎ、おて、まよ、く、り、く、
上地、出羽、雲

へ萬里の治りて、月より、神を
は影のさ容とて、おは、我、日
り、秋津島、大柳、梁地、神、又、代、れ、孫
天照、を、神、和、光、利、物、み、も、と、を、り
れ、く、あ、と、き、さ、つ、る、恨、れ、と、い、か、き
を、お、そ、の、虚、を、よ、満、る、五、色、の、雲、を、し
ぐ、や、う、お、ひ、ら、日、神、の、容、あ、り、ぐ、や、

後

静
 七
 少方授又めづしき神のそび
 の面白うりし思食もれど高
 向のちよ神さまりく天地
 二度用きたさまり國去り豊
 月日ツキヒのきりりトニニの長因ナガインきよき
 神さきり

右之本者觀世大夫章句真本令發行畢

正徳六兩歲弥生尚又天保十庚子歲子未改正再版

示來在萬數十年ノ星霜ヲ経ルニ後ト改正増補ヲ加シ

印刷附セガ六之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ム今般

宮内省御用達觀世清考校合ヲ以テ茲之ヲ上梓ト云

京都府平氏

出版人 檜 常 今

上京區東區三條御幸町西ノ子屋町

明治十年十月 内百拾番 出陸編
 同 十三年三月 發兌
 同 十三年九月 出陸編
 同 十三年三月 外空番 發兌
 同 十四年四月 出陸編
 同 十五年六月 別能社番 發兌
 同十六年十月十日 別能社本編 屆

東京 觀世清孝 大改生 一九兵南	東州 辨崎 堀井 吳三郎
梅若 實 大西 濫一郎	大改 松本 善助
京都 斤山 晋三	越後 高田 清平
浅井 喜次郎	近江 長濱 吉田 作平
林 喜右門	伊豆 松濱 玉井 新次郎
菌 久右門	東河 三條 村上 勘兵衛
浅野 繁之助	四條 寺町 大谷 勘兵衛
林 田喜代造	三條 寺町 杉本 甚助
武田 藤馬	日川 京町 福井 源次郎
藤本 保列	五條 高倉 澤田 友五郎
大紅 信之助	北河 西門 永田 調兵衛
井上 勝太郎	寺町 素藤 井 伴兵衛
立花 傳三	日佛 小路 山田 茂助
三宅 作十郎	日佛 小路 北川 甚七
奥田 彦重門	古門 前澤 田 吉右門
馬淵 大右門	

觀世流うたの本賣弘廣告

右謠本八段來出本長兵衛所有元治元年七月京都大火初土藏し燒朱依之矣
 保版不殘燒失故一山幸版本彫刻可致之如不其意所彫刻難出來每據我亦方并
 更存立公其後長兵衛死去山本絶在相成其有觀世家元之新版預出之如觀世
 家元亦右謠本亦來數十年の星和と種不況に致正増補追加印刷附其之紙
 悲之明治十年第廿世觀世家元授命終と相成版木彫刻可致有等付同年以來新版彫刻仕
 於私店販賣出右謠本與書各新出一張上何半角向公仰下及備奉致上哉

一 大本 壹番綴

壹冊二付 代價金

右諸君之嗜好所獲愛仕尚又外搦本之向不足有之如以重次第是本仕在右法
 用向備奉致上候

明治十六年十月

觀世流謠本根元

山本長兵衛後傳

檜 常 介

